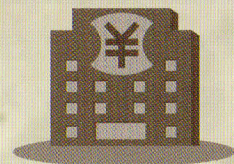


主に平成23年度流山市歳入歳出予算の審査が行なわれました。

一般会計の合計 420億円 (左側歳入・右側歳出)			
市税収入	220億円	議会費	5億円
その他自主財源	35億円	総務費	35億円
国庫支出金	64億円	民生費	163億円
県支出金	22億円	衛生費	43億円
市債	38億円	商工費	3億円
地方交付税	20億円	土木費	60億円
地方消費税	11億円	消防費	21億円
その他依存財源	10億円	教育費	50億円
		公債費	38億円

特別会計の合計 354億円	
介護保険	79億円
後期高齢者医療	14億円
国民健康保険	145億円
西平井・鱈ヶ崎区画整理	17億円
公共下水道	49億円
水道事業	50億円



合計 774億円

どんな予算の内容であったか？

- 市税収入の伸びは、依然として厳しい状況にある。(前年比3.3億円の減)
- 水道事業については、拡張や料金体系の見直しが今後検討される。
- 福祉では、子ども医療費助成事業・子宮頸がんワクチン予防接種事業・高齢者住宅改修助成事業などが実施される。
- 保育所整備や耐震改修事業は、引き続き実施される。
- 施設関係では、生涯学習センター駐車場整備・東部地域図書館建設・南流山センター施設改修などが予定されている。
- 地域課題解決では、向小金雨水幹線整備・運河駅舎橋上化・新市街地の小中学校建設の設計業務などに着手する。
- 臨時財政対策債の発行が22億円程度予定されている。
- 流山本町・利根運河ツーリズム推進事業として、流山本町の歴史的建造物を利用して市民活動交流の場を創る。また、ツーリズム推進室を設置する。



もりた洋一の一問一答



1. 子育てについて

- 小児夜間救急についての取り組み状況はどうなっているか。  
答：午後9時から翌朝8時まで千葉愛友会記念病院と東葛病院が初期対応可能で実現できると回答があった。市も予算計上し、最終協議中。
- 保育所と老人ホーム一体型施設を設置していくべきではないか。  
答：平成23年度おたかの森南西地区に設置される保育所で特別養護老人ホームとの併設型を想定し、整備が進められている。
- 幼児保育の専門家の育成をどう考えるか。  
答：活躍の場を求める人材を発掘し、NPO法人立上げなどの支援をしていきたい。

2. 水道事業について

- 民間投入の可能性をどう考えるか。  
答：事業の一部を第三者に委託していく方式を継続する。
- 経営分析の手法をどう活用するか。  
答：アセットマネジメント（資産管理）の考え方を導入する。

3. 国際化施策について

- 国際姉妹都市締結の進捗状況はどのようになっているか。  
答：ライデン市が難しい状況、デルフト市はオランダ大使館通じて検討中。  
この2つの都市との締結が見送られた場合、今後もオランダとの友好関係を築いていく。

4. 観光施策について

- 流山本町とおたかの森を結ぶバス路線の進捗はどうなっているか。  
答：京成バスと協議し、今年の4月に路線開通の見込みである。
- 観光案内所の機能充実をどう考えるか。  
答：シティーセールスと合わせて情報発信に努めていく。
- 新規に発足のツーリズム推進の部門を中心に着地型観光や企画商品提案に力を入れるべきではないか。  
答：本市の観光PRに重要であり、ホームページやポスターにより首都圏にも情報発信する。